第1回

福島イノベーション・コースト構想の拠点施設と地域の視察ツアー

先端農業と6次化産業推進による復興状況を視察するコース

川俣ポリエステル媒地活用推進組合のアンスリウム

ホップガーデンブルワリー

ネクサスファームおおくまのいちご「やよいひめ」

ネクサスファームおおくま

福島イノベーション・コースト構想は、震災と原発事故によって失われた浜通り地域等の産業・雇用を回復するため、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトであり、廃炉やロボット技術に関する研究開発、エネルギー関連産業の集積、先端技術を活用した農林水産の再生、人材育成などを通じて新たな産業・雇用の創出、交流人口の拡大等に取り組んでいます。本ツアーでは、構想における拠点施設等を巡り、地域の現状や構想への取組み等について視察いただきます。

期　間 2020年11月26日(木)～27日(金) 1泊2日

定　員 15名 ※申込みが多数の場合は抽選とさせていただきます。

募集対象
- 浜通り地域等の先端技術や復興のコンテンツを活用した旅行商品造成に意欲を持つ旅行会社
- 先端農業を活用し、浜通り地域等での新規ビジネスに意欲を持つ企業

参加費 無料 ※集合場所まで・解散場所からの交通費、前泊・後泊の宿泊費は自己負担となります。

申込締切 2020年11月18日(水)

本ツアーは企業、団体等の法人様向けモデルツアーとして実施いたしますので、個人でのお申込みはご遠慮いただきますようお願いします。

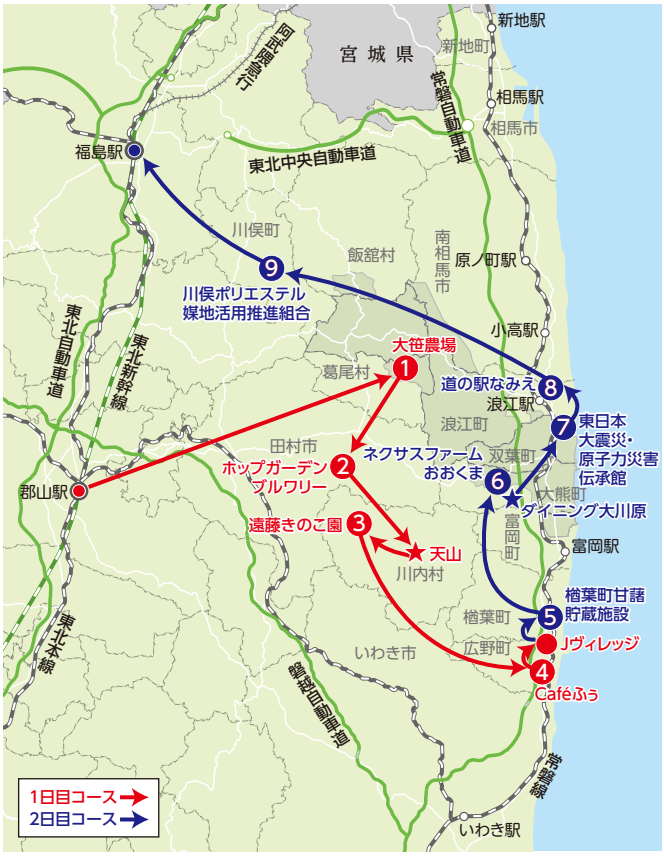
お申込み方法

❶https://www.fkk21.com/special/innovation2020/ にて申込書をダウンロードしてください。
(右記の二次元コードからも直接アクセスできます)

❷申込書に必要事項を記入し、honsha@fkk21.comへお送りください。

2020年度視察ツアー全日程

第1回	先端農業と6次化産業推進による復興状況を視察するコース 2020年11月26日(木)～27日(金)
第2回	ロボットや新エネルギーの先端技術に触れ、新たな産業集積の現状を視察するコース 2020年12月9日(水)～10日(木)
第3回	災害の教訓から学ぶ研修プログラムコース (予定) 2021年1月21日(木)～22日(金)予定



プログラム企画・実施　公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構

第1回　先端農業と6次化産業推進による復興状況を視察するコース

ツアー行程表

1日目　11月26日(木)

8:50集合／9:00出発
JR郡山駅（郡山市）＜貸切バス＞
‖
❶大笹農場（葛尾村）
【視察】ICTを活用した養鶏農家

‖
❷ホップガーデンブルワリー（田村市）
【視察・試飲】田村市産あぶくまホップを使用した
クラフトビール醸造所
‖
蕎麦酒房 天山（川内村）
【昼食】川内村産そば粉を使った打ち立て蕎麦
‖
❸遠藤きのこ園（川内村）
【視察・体験】空調設備等を活用したきのこ栽培農家
‖
❹Caféふう（広野町）
【視察】ふたば未来学園の生徒が運営するCafé
‖
17:45到着
Jヴィレッジ（楢葉町・広野町）
【宿泊】地域関係者との懇談

朝食	昼食	夕食
×	○	○

2日目　11月27日(金)

8:45出発
Jヴィレッジ
‖
❺楢葉町甘藷貯蔵施設（楢葉町）
【視察】世界最大級貯蔵施設

‖
❻ネクサスファームおおくま（大熊町）
【視察】ICTを活用した大規模イチゴ栽培施設
‖
ダイニング大川原（大熊町）【昼食】
‖
❼東日本大震災・原子力災害伝承館（双葉町）【見学】
‖
❽道の駅なみえ（浪江町）【視察】
‖
❾川俣ポリエステル媒地活用推進組合（川俣町）
【視察】ポリエステル媒地を活用したアンスリウム栽培農家
‖
18:00解散
JR福島駅（福島市）

朝食	昼食	夕食
○	○	×

【宿泊】Jヴィレッジ（シングルルーム、1泊2食付）
福島県双葉郡楢葉町山田岡字美シ森8　　TEL 0240-26-0111

❶大笹農場
原発事故で廃業した鶏舎の跡地に、伊達市から移住した高橋さん親子が鶏舎を復活。舎内の環境管理はコンピューター制御し、給餌給水は自動化。鶏ふんは燃やし、鶏舎の床暖房の燃料に活用しています。

❷ホップガーデンブルワリー
ホップジャパンが2020年8月に田村市の「グリーンパーク都路」を改修し、ホップの栽培から手がけるクラフトビール醸造所として開設。ホップをふんだんに使ったビールで1次産業から6次産業化に繋げていくサイクルを一つのまちで展開しています。

❸遠藤きのこ園
菌床を管理するハウスでは自動でミストを噴霧し、ハウス内の温度、湿度を細かく管理。肉厚で傘が大きく、石突の部分もしっかり太いしいたけを栽培し、独自ブランド「ひたむき椎茸」として出荷しています。ツアーでは、椎茸とキクラゲの収穫体験をお楽しみください。

❹Caféふう
福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校　地域協働スペースにあるカフェ。店名の「Caféふう」には、タンポポの綿毛が「ふう」と飛ぶように、この場所から未来に羽ばたきたいとの願いが込められており、社会起業部カフェチームが部活動として運営しています。

❺楢葉町甘藷貯蔵施設
楢葉町が白ハト食品工業株式会社と協力し、町内の休耕農地を活用して生産された菓子加工用のサツマイモを貯蔵する施設で、2020年10月に開所。貯蔵施設には、高温多湿下で貯蔵期間を延ばす処理を行う「キュアリング室」や最大1,260トンを保管できる貯蔵庫などを配置しています。

❻ネクサスファームおおくま
栽培面積約2.2haの太陽光利用型植物工場。1株1ポットの高設養液栽培で環境制御装置を利用したいちごの周年栽培を行っています。GAPによる生産管理と非破壊式放射能測定による全量検査で安全ないちごを生産します。G.GAPの認証を取得しております。

❼東日本大震災・原子力災害伝承館
2011年3月11日に発生した東日本大震災及び原子力災害の記録と記憶を国や世代を超えて伝えつつ、復興に向けて力強く進む福島県の姿と国内外からの支援に感謝の思いを発信する施設です。

❽道の駅なみえ
2020年8月に地元の魚や野菜などの直売所と食堂、会議室を備えた地域振興施設としてオープン。2021年1月には、山形県長井市に移転中の鈴木酒造店と大堀相馬焼の展示販売所が入る地場産品販売施設が完成し、グランドオープンします。

❾川俣ポリエステル媒地活用推進組合
川俣町内11の農家で組織され、エナメルのようにつややかな質感が特徴の花「アンスリウム」を栽培しています。アンスリウムは、近畿大学による復興支援プロジェクトの一環として栽培を開始した花で、土壌の代わりにスポンジのようなポリエステル媒地と液体肥料を活用しています。

諸注意
①本ツアーは、参加者の皆様にモニターとしてご協力いただく条件で設定されたものです。今後のより良いツアーの企画・実施のため、ツアー終了時にアンケートへご協力いただきます。　②今後、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構などが作成するパンフレット類やWeb発信などに、ツアー中に撮影した写真・インタビュー内容・アンケート結果を使用する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

国内募集型企画旅行条件
この旅行は、福島交通観光株式会社が企画・募集し実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約を締結することとなります。●お取消の場合は、お早めにご連絡ください。●添乗員は同行いたしませんが、(公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構のスタッフが同行いたします。●利用バス会社：福島交通又は新常磐交通　●特別補償：当社は、お客様が旅行参加中に偶然かつ急激な外来の事故により、身体又は手荷物の上に被った一定の被害について、あらかじめ定める額の補償金、又は見舞金をお支払いいたします。●個人情報の取り扱い：お客様から頂戴した個人情報は、お客様との連絡やその他旅行に必要な運送、食事機関等の手配及びサービスの受領のため、必要な範囲で利用させていただきます。●この旅行条件は2020年10月26日を基準としています。●詳しい旅行条件を説明した書類をお渡ししております。事前に確認の上お申し込みください。

お申込み
お問合せ
【旅行企画・実施】観光庁長官登録旅行業第1034号　**福島交通観光株式会社 福島支店**
〒960-8132　福島県福島市東浜町7番8号(2F)　受付：営業日の9:00～17:40(毎週水曜日・土曜日・日曜日と祝日は、休業日とさせていただきます)
TEL 024-531-8953　　FAX 024-531-8961　　総合旅行業務取扱管理者：松本 幸治　https://www.fkk21.com